

## 令和2年度 [花卉の概況]

本州産の切花は、生育がやや遅れ気味で品質が低下している品目も見られます。  
 また、高齢化、人手不足から需要期に大量に集中出荷することが難しくなっています。  
 カーネーション、バラ、トルコ桔梗等を中心に輸入品を積極的に取り入れ、市況の安定化を図ります。

花卉概況担当 丸果旭川青果卸売市場 取締役花卉部長 引地紀夫（花卉部直通48-3237）

主品目	主力産地	前年対比		市況予想（1本単価）	概況
		入荷量	市況		
輪菊	愛知、静岡、鹿児島	減	高め	120～80	生育前進傾向で需要期品薄見込まれ、市況も上昇予想です。
小菊	沖縄	微減	並	50～30	予対品中心の入荷見込み単価安定予想です。
カーネーション	愛知、コロンビア	微減	並	100～70	国内産は長雨の影響で減少傾向。輸入品は前年並みで推移。
バラ	愛知、エクアドル	並	並	200～100	人気の赤系を中心に需要高まる。市況は昨年並み。
百合類	宮崎、韓国	並	並	400～200	入荷量は前年並み。市況も前年並みで推移。
トルコ桔梗	静岡、福岡、台湾	並	やや安い	250～120	国内産は天候不順から品質低下。台湾産が安定入荷の予想です。
若松	茨城	減	高め	170～60	入荷量は減少傾向です。
千両	茨城	減	高め	700～200	生産量減っており品薄感強い。市況1～2割高を予想です。
シクラメン	旭川、伊達、札幌	減	並	1000～500	前年に引き続き生産量減少。消費低迷から弱含みです。
ポインセチア	帯広、札幌	減	並	700～400	道内産地からの入荷。入荷減少傾向だが市況は昨年並みです。
シンビジウム	静岡、秋田	減	並	3500～1500	志向の変化から引き合い弱い。市況やや安め予想です。